

**平成27年度
横浜市港南地区センター事業計画書**

指定管理者

一般社団法人こうなん区民利用施設協会

事業計画書様式2-(1)

横浜市港南地区センター 指定管理者事業計画書			
提出年月日 平成27年 1月31日			
団体名	一般社団法人こうなん区民利用施設協会		
代表者名	会長 高森 政雄	設立年月日	平成24年 4月 3日
団体所在地	横浜市港南区港南6-2-3 桜道コミュニティハウス内		
電話番号	045-847-5211	FAX 番号	045-847-5262
現在運営している施設名	所在地	運営開始年月日	
横浜市港南地区センター	港南区日野1-2-31	昭和55年 3月25日	
横浜市東永谷地区センター	港南区東永谷1-1-12	平成 9年 6月 8日	
横浜市野庭地区センター	港南区野庭町612	平成14年 2月 9日	
横浜市桜道コミュニティハウス	港南区港南6-2-3	平成12年 4月28日	
横浜市日野南コミュニティハウス	港南区日野南 6-14-1	平成22年11月 1日	
横浜市下野庭スポーツ会館	港南区野庭町136-4	昭和54年 9月22日	
野庭すずかけコミュニティハウス	港南区野庭町346-2	平成 2年 4月25日	
上永谷コミュニティハウス	港南区上永谷4-12-14	平成 3年 4月27日	
日限山コミュニティハウス	港南区日限山2-16-1	平成 4年 4月18日	
港南台コミュニティハウス	港南区港南台2-14-1	平成10年 4月25日	

1 一般社団法人こうなん区民利用施設協会に関すること

(ア) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会の経営方針について

(イ) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について

(ア) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会の経営方針について

一般社団法人こうなん区民利用施設協会(以下「当協会」という。)は、

「つどい、ふれあい、にぎわう」

「地域とともに育ち、育てあう」

をモットーに、長年積み重ねた運営のノウハウ及び地域との連携・信頼関係を生かして、地域住民が身近な場所で、個人利用やさまざまなグループによる活動を、円滑に行うことができるようにします。これにより住民同士の交流が図られ、地域コミュニティが充実されることを目指して、引き続き地域に密着した経営に努めます。

運営については、当協会が長期に安定して運営してきた実績を元に、「経営」の視点をもって、これらの施設及び協会事務局の人的、物的資源を連携して活用します。それとともに、各施設の運営については、地域及び利用内容等の特性を尊重し、基本的な共通事項については、可能な限り統一することにより、利用の利便性・公平性の保持を図るとともに、この中で「お客様へのサービス提供」との理念を徹底し、より良い運営に努めていきます。また、運営・管理業務を効率的に行うために、会計経理、労務管理を協会事務局が、一元的に行うことによるスケールメリットを生かすとともに、弾力的な運用を図り、収入の増加及び管理費の節減等に努めます。

(イ) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について

当協会は、前身の『港南区区民利用施設協会』から事業を継承しましたが、旧団体期間を含め地区センター3館、コミュニティハウス6館及びスポーツ会館の合計10施設の運営・管理業務を行い、健全な経営基盤の確立と着実な実績をあげています。職員数は、事務局を含めて94名ですが、常に利用者の視点に立って、快適で安全な施設管理、サービスの向上に努めています。

また、自主事業についても、利用者のニーズ、自主性を取り入れた講座等を実施し、平成25年度の利用実績は425,490人(平成24年度437,320人)となっており、概況は次のとおりです。

施設名	来館者数 (人)	まつり 来館 延人数(人)	自主 事業数	自主事業の 参加延べ人数 (人)
港南地区センター	100,923	2,759	32	2,542
東永谷地区センター	102,675	1,000	33	3,083
※野庭地区センター	76,471	1,100	28	1,747
桜道コミュニティハウス	37,636	729	18	662
日野南コミュニティハウス	29,026	556	16	906
下野庭スポーツ会館	14,689	380	13	382
野庭すずかけコミュニティハウス	11,236	208	15	566
上永谷コミュニティハウス	15,066	238	21	700
日限山コミュニティハウス	16,635	750	17	584
港南台コミュニティハウス	21,133	794	17	786
10施設合同事業			(1)	40
合計	425,490	8,514	210	11,998

※野庭地区センターは電気設備工事の為 2/19~3/31休館

(ウ) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会の考える情報提供及び情報公開について

情報提供

区民・利用者に対し、次の媒体を通じて、施設の利用案内、講座の案内、サークル紹介等の情報提供をわかり易くかつ迅速に行っていきたいと考えます。

- ① 地区センターホームページの活用
- ② 施設案内パンフレットによる概要、利用方法等のPR
- ③ 『地区センターだより』の発行
- ④ 自主事業内容、事業ごとの周知、募集
- ⑤ 広報よこはまこうなん区版の活用
- ⑥ 港南区ホームページの活用
- ⑦ 区民活動支援センターでの情報提供
- ⑧ 他の地区センターやコミュニティハウスでのポスター、チラシの配布、自治会町内会回覧の活用及び掲示版への掲示のお願い
- ⑨ ケーブルテレビ・ミニコミ紙を媒体として利用、放映・掲載
- ⑩ 館内にPRコーナーを設置し、館の情報、グループ活動情報の提供等に活用

情報公開

施設管理運営の透明性の確保により、利用者の信頼獲得のために必要であり、そのために次の情報を公開します。

- ① 経営方針
- ② 個人情報取扱方法
- ③ 利用要綱
- ④ 苦情・事故の対応方法
- ⑤ 事業計画書・報告書
- ⑥ センター委員会の結果報告
- ⑦ 利用者アンケートの結果報告
- ⑧ 利用者会議の結果報告
- ⑨ 第三者評価の結果報告
- ⑩ その他

以上により、さらなる施設利用者の拡大に向け情報提供、公開の強化、充実に努めます。

事業計画書様式2-(3)

2 港南地区センターの管理運営に対する基本理念に関すること

(ア) 港南地区センターの管理運営を希望する理由について

(イ) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会における地区センター管理運営の位置づけについて

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 港南地区センターの管理運営を希望する理由について

当協会は、3館の地区センターを含む10施設を運営管理してきた実績を有し、それらの物的、人的資源を連携して活用することにより、単一施設の枠を超えて役割の向上を図っています。

今後とも港南地区センターを含む複数施設を運営することにより、それぞれの施設の特性を尊重しつつ、蓄積されたノウハウとネットワーク等を生じ、事業面でも相乗効果を発揮することで、お客様に対してさらなる良好なサービスの提供と、地域課題の解決に向けた支援ができるものと考えています。

(イ) 一般社団法人こうなん区民利用施設協会における地区センター管理運営の位置付けについて

当協会は、区民利用施設の管理運営に際して、地域特性を生かし、地域と協働して地域コミュニティの醸成の支援を積極的に行うことを目的に活動してきました。

こうした目標とこれまでの実績をさらに進展させ、港南地区センターが、これからも地域活動の拠点としてふさわしい施設となるよう管理運営を行い、地域に貢献してまいります。

また、港南地区センターは、当協会の運営上の中核的施設であり、複数施設が協力、競い合うことで事業効果をより広範にかつ効果的に展開することが可能となると考えています。

(ウ) 港南区の特徴や地区センターの設置目的と、運営への反映の考えかた

港南区は、市の南部に位置し、面積は約20平方キロメートル(市全体の約4.6パーセント)で、山地や丘陵地のほか、大岡川、平戸永谷川にはぐくまれた平坦な土地も形成しています。大規模な宅地開発や上大岡駅、港南台駅周辺を中心に市街化が急速に進み、交通幹線の発達とともに、成熟した住宅都市、生活文化都市として発展してきました。

平成25年7月に行った横浜市市民意識調査では、災害対策、地域医療、防犯対策、高齢者福祉が上位の要望となっています。一方、住民同士が交流する機会が年々減少している傾向が続いており、地域での防犯、防災などが、弱まっていることが、地域住民の心配ごとや困りごとになっています。

地区センターは、地域の多様な個人やグループが、各人のライフステージにおいて、生き生きと暮らすための健康づくりをはじめ、学習、文化、芸術、レクリエーション、スポーツなどのへの欲求実現のために、身近な場所で気軽に活用することにより、満足と成長の場を提供するものとして、地域コミュニティの充実に貢献しています。

これらのことから、地区センターの運営にあたっては、地域コミュニティや、ふるさと意識のさらなる充実、地域課題の解決に向けて活動等の場と機会を提供し、当協会が運営する各施設間の連携により地区センターの機能強化及びサービスの向上に努めていきます。

事業計画書様式2-(4)

3 港南地区センターの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

(ウ) 他施設や併施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

港南地区センターは、市内でも有数の商業地域である上大岡地区に隣接し、港南区の行政機関が置かれているエリアにあります。この地区は、古くからの住宅地域にあり、近年、マンションが増え、新住民も増えています。また、当地区センターに隣接してスポーツセンターが設置されており、センターまつり、スポーツレクリエーションフェスティバルなど共同事業を展開することで相互に事業効果を高めています。さらに、近年の高齢化等から改めてふるさと意識への回帰が見られ、新たな交流機会の場が求められています。利用主体は、行政からの委託団体など公共系の割合が高く、スポーツ系、文化系で約450のグループが団体利用しています。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

ニーズ及び意見・要望については、受付での予約・相談の際のほか、①センター委員会 ②利用者会議 ③自主事業参加者 ④近隣地区に居住するスタッフから収集しています。

また、年一回の協会一斉アンケートを行うとともに『お客様の声』の活用などを運営に反映していきます。前年度は、『仲間同士の触れ合い』や『生涯にわたる趣味』を持つための講座として、「フォークソングを楽しく歌おう」「東海道を歩こう」「初心者入門教室(ギターを弾こう)」「楽しい似顔絵入門」などを企画したところ、参加者が多く、事業終了後も発展グループが立ち上がり、生き生きと活動する姿が見られました。『何かをしたい』を求めている人たちが増えています。そこで、今年度も、中高年の社会参加や異世代交流、趣味・教養、ニーズ等を勘案した講座を企画するとともに、地域の街おこしや、地域の活性化につながる事業を、区や地域と連携して、引き続き計画してまいります。

来館者が実施を希望する自主事業を随時記入できるよう、館内にアンケート用紙を置き、多くのニーズを把握し、館の運営に反映していきます。

(ウ) 他施設や行政関係機関との連携について

事業を運営するにあたり、他の地区センターやコミュニティハウスと必要な物品を貸し借りするのみではなく、共同で購入し、連携した自主事業を企画していきます。

特に近隣する桜道コミュニティハウス、港南スポーツセンター、地域子育て支援拠点『はっち』や区役所・区民活動支援センターとのイベントの共同化、自主事業での連携に取り組んでいきます。更に利用者ニーズを的確に捉えた事業の企画実施を行ってきたいと考えています。

また、他の地区センターやコミュニティハウスとともに、行政関係機関が主催する各種事業に積極的に参加し、各種情報の発信基地としての役割を担い、活力ある地域コミュニティの醸成を目指します。

行政との連携として、港南区福祉保健センターで行っている区民へのサービス『ハチ駆除機器』の貸し出しを地域の方の利便性のため地区センター窓口で行っていくほか、地域の賑わいとなる「センターまつり」を近隣施設と合同開催し、集客の増を図るなど、近隣施設との連携を強化し、地域コミュニティの醸成に寄与してまいります。

事業計画書様式2-(5)

4 港南地区センターでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

区民が気楽に利用する施設として、幼児から高齢者まで誰でもが気持ちよく利用できるよう公平・公正な運営のもとに、親切で明るくさわやかな対応を心掛け、可能な限り弾力的な運用、サービス向上を図ります。利用者の皆様に喜んでいただくために、皆様方からのご意見、ご要望にできる限りお応えします。また、気持ちよく利用していただくために、館内外の清潔さ、環境の整備(四季の花を咲かせる)、破損個所の早期発見修理などを常に心がけます。

(イ) 会議室等の利用に関する取扱いについて

利用者相互で気持ちよく利用していただくために、事前のセットアップに努めるとともに、予約方法、弾力的利用などのサービスに努めます。

利用方法
<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者相互に支障がない場合の2分割利用(和室)ができます。 ② 和室に座椅子を常備しています。 ③ ロビーや各部屋で軽飲食が可能です。 (レクホール・プレイルーム・図書室を除く) ④ 稼働率の少ない部屋は、利用回数の制限の解除の拡大。 ⑤ 飲料水自動販売機を各階に設置。 ⑥ パソコン利用団体のためのインターネット環境の整備。
予約申込
<ul style="list-style-type: none"> ① 予約開始日を2か月前(夜間6か月前)とします。 2か月前(夜間6か月前)の当該日の予約申し込みにあたっては、申込者が多数来館するので、受付表・番号札・抽選等で公平を期し、申し込みやすいよう工夫します。 ② 電話予約は、改めて本予約に来館されることを条件に受け入れます。
予約情報(空き室情報)
<ul style="list-style-type: none"> ① 受付カウンター付近の案内板で、状況が確認できるようになっています。 ② 横浜市HPの施設ガイド・地区センター情報を随時更新し、インターネット利用者の利便性を図っています。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

活動の場を必要とする個人・団体のニーズには、①利用可能施設の概要、料金など ②事業メニュー、講座内容、活動グループなど ③講師、指導者紹介などがあり、相談内容に応じて、横浜市、港南区役所(港南区民活動支援センター)、地域ケアプラザ等の情報を可能な限り収集・提供するとともに、専門家の紹介・調整・活動の進め方、グループづくりなどについて、可能な範囲で支援します。

事業計画書様式2-(6)

5 自主事業計画

(ア) 自主事業計画の考え方

(イ) 自主事業の構成

(ア) 自主事業計画の考え方

① 計画の作成

港南区センターの自主事業計画では、企画段階において地域や利用者からのニーズ、意見、要望や事業後のアンケートなどを適切に反映させると同時に、館としても地域に対して発信し、提案することが必要と考えており、自主事業の魅力の向上や地域内の交流と地域力の向上を図ります。

② 自主事業の実施方法

事業実施にあたっては、地域の様々なリーダーを講師・指導者として活用するとともにボランティアを取り入れていくことなどにより、地域に密着した地区センターの事業とします。また、そのことにより参加しやすい受講料とすることを目指します。

さらに、スケールメリットを生かして協会の運営する施設合同事業も実施します。

③ 当館独自の取組

港南区の区政運営方針に掲げる『つながり はぐくむ ふるさと港南』を館の自主事業のテーマのひとつとして捉え、地域に根ざした事業展開を図ります。

(イ) 自主事業の構成

(1) 親と子を対象に子育てを支援する事業

・自由な遊びやお話の会などを提供することにより、小さな子どもに対しての保育や親子のふれあいなど、子育て支援を実施します。

(2) 子どもの創造性を育む内容の事業

・子どもが自ら取り組むきっかけを与え、自主性や創造性を育みます。

(3) 子どもから高齢者までが一緒に参加し、交流できる事業

・世代間の交流を広げるため、季節の行事を中心に展開します。

(4) 健康維持やハリのある暮らしへのきっかけづくりの事業

・『明るく元気な港南』を目指し、健康面や暮らしの充実に向け実施します。

(5) 地域活性化・ボランティア人材の発掘を目指す事業

・地域住民に『地域のことをもっと知ってもらい、地域を好きになって、よりいっそう住み良い地域となるため自分も役立ちたい』と受講者の自主的な行動に期待をこめた港南区役所との連携事業に取り組みます。

(6) 合同事業

- ① 一般社団法人こうなん区民利用施設協会10施設合同事業
「文化芸術創造都市～横浜の魅力を探る」をテーマに実施します。
- ② 港南区センター・桜道コミュニティハウス合同事業
「クリスマスコンサート」を実施します。

(7) センターまつりと関連する事業

・港南スポーツセンターや地域子育て支援拠点『はっち』と合同で実施し、各施設の連携を深めます。

◆スポーツ及び子ども対象の事業については、必ず傷害保険に加入します。

6 施設の経営に関する考え方

- (ア) 指定期間中の経営に関する基本的方針について
- (イ) 効率的運営のための具体的な計画について
- (ウ) 利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

(ア) 指定期間中の経営に関する基本的方針について

区民利用施設の設置目的に沿い当協会に期待されている役割を的確に遂行するために、利用者の満足度の向上を図る円滑な運営・管理と魅力的な事業内容の提供を目指して、各館及び協会事務局が一体となって、『経営』の視点を取り入れて総合的に取り組みます。

利用者への直接の対応は、各館が行いますが、複数施設を運営する当協会の優位性を生かして、役割の発揮とサービス向上に努めます。全体の管理運営面では、設備、機器、資材等のハード面及び事業企画、ノウハウ等のソフト面での連携・活用、予算の弾力的執行等を、財務面では、収入増加策及び経費の節減を図って参ります。

さらに、緊急を要する修繕など施設の安全対策の向上と積極的な対応に取り組みます。

また、近年、エコ・温暖化への取り組みが広がってきていますが、当協会においても、ペットボトルキャップやインクカートリッジの回収については、公共施設の役割として、今後も積極的に行って参ります。

なお、期間中に実施した外部機関による第三者評価の評価結果をもとに、利用者サービスの向上など、施設運営に反映するとともに各館の運営については、地域と連携した運営事業について評価と支援をいただいておりますが、より『わかりやすく、安心して、心地よい』をモットーに改善の努力を続けます。

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

当協会が行っている複数施設の運営は、

- ① スケールメリットを生かした予算の弾力的執行、職員の採用及び配置等、人事労務事務の効率化
- ② 運営面で利用者に分かりやすく公平であるための、統一的ルール等の設定、運用
- ③ 事業の計画及び実施に係る企画力、ノウハウの相互活用、連携による内容の充実
- ④ 資材、設備等の共用物品の共同購入による有効活用
- ⑤ 災害時に利用者の安全を図る等防災対応能力の向上

など効果的・効率的な運営を行う点でメリットを有しており、

- ① 館長等職員の研修の充実と、事務局の総括・調整機能の強化
- ② 年間の業務スケジュールに基づき、館長会議、副館長会議、スタッフ会議を開催

などにより、運営面での調整をはじめ、事業計画上の情報交換、連携、課題、情報の共有・解決策の提示、重要事項の周知徹底等をきめ細かく行います。

収入面では、ニーズを捉えた魅力的事業を企画するなどにより、施設利用率の向上による利用料金収入の増加に努めます。

(ウ) 利用料金の単価の設定及び利用率の想定について

利用料金は市の限度単価を採用します。利用率については、前年の稼働実績(率)を基に想定しています。

なお、利用率の向上に向けては、館のPR強化、サークルの育成、休日・夜間の利用促進などを図って参ります。

また、将来、利用率向上等による、より以上の収入増加があった場合、利用者への還元や更なる利用率向上を図るための割引料金制の導入などを検討していきます。

7 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

(ア) 職員の配置及び採用について

(イ) 職員の研修計画について

(ウ) 個人情報の保護の措置について

(ア) 職員の配置及び採用について

当協会は、地区センターに次のとおり職員を配置します。

常勤職員(館長1名・副館長2名)		時給職員(スタッフ12名)	
4週8休の0-テーション勤務		1週間交替勤務	
早番	8時45分～16時45分	午前(2名)	9時00分～13時00分
遅番	13時15分～21時15分	午後(2名)	13時00分～17時00分
		夜間(1名)	17時00分～21時00分
		作業(1名)	7時30分～10時30分

常勤職員、時給職員の採用については、次の方針により、慎重に選考を行います。

館 長

管理運営の統括責任者として、職員の労務管理、館の経理、緊急時の対応、自主事業の企画・実施、スタッフの研修等各種の職務を職員に指示するため、広い視野で物事に当たり、指導力を兼ね備えた、地域に密着した区民利用施設の運営に意欲・知識・経験のある人材を選考します。

副 館 長

館長不在時には、館長代理としての責務を担い、館長と同様に広い視野で物事に当たり、指導力を兼ね備えた、地域に密着した区民利用施設の運営に意欲のある人材を選考します。

ス タ ッ フ

地域に密着した区民利用施設の役割を理解し、その一員として協調性を兼ね備えた意欲のある人材を地域住民を対象に公募し、慎重に選考します。

(イ) 職員の研修計画について

地区センターの職員として、次に掲げる3点の方針に従って研修を企画実施します。

- ① 利用者ニーズに適切に答え利用者サービスに徹する。
- ② 利用者の安全を十分に配慮し、緊急時の即時対応
- ③ 職員一人一人の能力の向上

(ウ) 個人情報の保護の措置について

当協会は、個人情報は施設利用者の資産であることの意識を徹底し、『個人情報取り扱い10か条』を策定し、個人情報を適切に取り扱うことを全職員に徹底しています。

まず、利用者の個人情報の取得は最小限にとどめ、他利用者の目に触れぬよう、整理・利用・保存の方法を考慮しています。また、書類等作成についても、常に意識を持ち、館長を中心として、職員相互によるダブルチェック態勢を機能させ、不用時の廃棄についても、方法を含め適切に処理するよう指導しています。

事業計画書様式2-(9)

8 緊急時対策について

(ア)防犯、防災の対応について

(イ)その他、緊急時の対応について

防犯・防災マニュアルを定め、館長をはじめとして全職員に、各種研修等機会を捉えて危機管理意識を徹底します。

(ア)防犯、防災の対応について

○防犯の対応について

- ①開館時間内については、職員が常時注意を払って対応し、内容と状況により常備している緊急連絡先一覧により連絡する等、速やかに対応します。具体的ケースについては、下欄の分担表により対応します。
- ②『緊急通報システム』を導入し、緊急時に民間警備会社が即時対応できる体制とし、利用者及び職員のより一層の安全向上を図ります。
- ③夜間(閉館中)については、安全管理を円滑に行うため、民間警備会社に機械警備を委託しています。建物及びこれに付帯する物件につき、盗難、不法侵入その他不法行為及び火災、ガス等の発生を警報機器などでキャッチし、巡回中の車両が現場に急行するとともに、警察署・消防署等に連絡が行くようになっています。

○防火・防災

- ①防火管理者の資格をもつ館長が策定した防災計画に基づき対応します。
- ②消防署の協力を得て、毎年消防・防火避難訓練を実施します。
- ③設備関係については、法令による保守・点検を実施し、正常に機能する状態を保持します。
- ④激甚災害発生時には、利用者の安全確保を図るための対応策を充実させるとともに、地域に貢献するため区と連携し、災害時の施設活用等行政の指定避難施設の役割を補充します。

(イ)その他、緊急時の対応について

緊急時には、勤務する職員全員で役割を分担し、利用者安全のために臨機応変に対応します。また、利用者に急病人が出た場合に備えて自動体外式除細動器(AED)を設置するなど、初期対応に生かします。

◎分担表<ローテーション勤務のため最小配置人数(夜間時間帯を除く)が3人となるため>

職員	A	B	C
役割	総括・連絡	現場対応	避難誘導

※夜間時間帯は2人体制となるが、状況判断を適切に対応することを日頃から確認し合う。

◎緊急連絡網

- ①警備委託会社等
- ②関係機関緊急連絡先『警察、消防、医療機関、学校等』
- ③施設職員、地区センター委員会委員
- ④施設協会事務局、区役所

自主事業計画書(1)

団体名 一般社団法人 こうなん区民利用施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
古文書で読み解く江戸の事件簿	一般	53,000	23,000	30,000	36,000	7,000	10,000
	30人						
	1000円						
ママレードを作ろう	一般	27,000	19,000	8,000	9,000	8,000	10,000
	16人						
	500円						
始めてみよう「茶道」	一般	90,000	50,000	40,000	40,000	40,000	10,000
	20人						
	2000円						
フラワーアレンジメント	一般	85,000	37,000	48,000	27,000	48,000	10,000
	12人						
	4000円						
クロスステッチ入門	一般	57,000	37,000	20,000	27,000	20,000	10,000
	20人						
	1000円						
ニューデコパージュで 室内表札を作ろう	一般	57,000	37,000	20,000	27,000	20,000	10,000
	10人						
	2000円						
5施設合同事業 「懇親囲碁大会」	一般	19,000	15,000	4,000	10,000	4,000	5,000
	8人×1施設=8人						
	500円						
庭造り剪定入門 (7月・11月)	一般	62,000	46,000	16,000	48,000	4,000	10,000
	16人×2=32人						
	500円						
書道講座 「筆で楽しく名前を書こう」	一般	51,000	31,000	20,000	36,000	5,000	10,000
	20人						
	1000円						
アロマテラピー入門	一般	86,000	46,000	40,000	36,000	40,000	10,000
	20人						
	2000円						
(ボランティアに挑戦!!) わが街ふれあい探訪	一般	114,000	74,000	40,000	50,000	48,000	16,000
	20人						
	2000円						
水彩スケッチ入門	一般	76,000	36,000	40,000	36,000	30,000	10,000
	20人						
	2000円						
	合計	777,000	451,000	326,000	382,000	274,000	121,000

自主事業計画書(2)

団体名 一般社団法人 こうなん区民利用施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
鎌倉文学散歩	一般	30,000	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	20人						
	500円						
シティーガイド ウォーキング	一般	90,000	50,000	40,000	70,000	10,000	10,000
	20人						
	2000円						
男子の料理教室	一般男子	60,000	28,000	32,000	18,000	32,000	10,000
	16人						
	2000円						
健康太極拳入門	一般	50,000	30,000	20,000	36,000	4,000	10,000
	20人						
	1000円						
映画鑑賞会	限定なし	50,000	50,000	0	0	40,000	10,000
	100人						
	0円						
桜道CH合同事業 クリスマスコンサート	限定なし	60,000	60,000	0	40,000	10,000	10,000
	100人						
	0円						
10施設合同事業 「文化芸術創造都市 ～横浜の魅力を探る」	一般	75,000	35,000	40,000	0	0	75,000
	40人						
	3500円						
パソコン講座	一般	94,000	22,000	72,000	80,000	4,000	10,000
	12人×2コース=24人						
	3000円						
古典を読む	一般	70,000	10,000	60,000	54,000	6,000	10,000
	30人						
	2000円						
無添加味噌作り	一般	120,000	40,000	80,000	18,000	82,000	20,000
	40人						
	2000円						
金融制度の活用術	一般	9,000	9,000	0	6,000	1,000	2,000
	30人						
	0円						
小計		708,000	354,000	354,000	332,000	199,000	177,000
合計		1,485,000	805,000	680,000	714,000	473,000	298,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

わんぱくサタデー事業計画書

団体名 一般社団法人 こうなん区民利用施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人員	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おはなしのひろば	未就学児と保護者 10組 0円	80,000	80,000	0	60,000	8,000	12,000
カプラ 魔法の積木であそぼう	2歳以上(未就学児は保護者同伴) 20人 0円	54,000	54,000	0	36,000	6,000	12,000
葉脈のしおり作り	5歳～小学生 20人 100円	22,000	20,000	2,000	10,000	2,000	10,000
たなばたまつり	限定なし 0円	9,000	9,000	0	0	4,000	5,000
お楽しみ人形劇場	限定なし 100人 0円	37,000	37,000	0	30,000	2,000	5,000
子どものアトリエ	5歳以上 15人 2000円	74,000	44,000	30,000	36,000	30,000	8,000
親子であそぼー 「びよんびよんクラブ」	1歳6か月～3歳児と保護者 30組 1000円	64,000	34,000	30,000	50,000	4,000	10,000
親子粘土教室	5歳以上 20人 600円	36,000	24,000	12,000	18,000	12,000	6,000
親子でお菓子作り	5歳～小学生と保護者 12人 1000円	26,000	14,000	12,000	9,000	12,000	5,000
(港南スポーツセンター共催事業) フアジーボール入門	小学生 20人 500円	10,000	0	10,000	0	5,000	5,000
貝殻のお雛様を作ろう	3歳以上 20人 500円	24,000	14,000	10,000	9,000	10,000	5,000
	合計	436,000	330,000	106,000	258,000	95,000	83,000

自主事業別計画書(1)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古文書で読み解く「江戸の事件簿」	(目的) 古文書を初めて読む方が、気軽に親しめ・読めることができるよう、基礎的な知識を学ぶ。 (内容) 古文書「吉田松陰密航未遂事件」を読み、その時代背景を考える。また、各地に残る赤穂事件関係の古文書で、映画やドラマでのシーンは、実際の記録にはどう描かれているかを読む。	4月～7月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママレードを作ろう	(目的) 地元の講師による料理教室で地域住民の交流を図る。 (内容) 地元で材料を調達して、無農薬・無添加の安心・安全な「ママレード」を作る。	4月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
始めよう「茶道」	(目的) 茶道の基礎を学び、おもてなしの心配りを感じ取る。 (内容) 初心者が茶道の基本的な作法を習得し、その楽しさを味わうとともに、地域の人々との交流を図る。	5月～6月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジメント	(目的) フラワーアレンジメントの基本を学び、色々な花の個性を生かした表現方法を使って活ける。 (内容) 大小織り交ぜた花を使って、美しい作品を完成させる。	5月～7月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クロスステッチ入門	(目的) 糸を交差させて刺す縫い方「クロスステッチ」の基本の技法を講師から教わり、生涯の趣味としてもらうとともに、友達づくりをする。 (内容) 楽しいデザインのタペストリーを作り、家に飾る。また、自分自身の発想を生かしながら、オリジナルなデザインを楽しむ。	6月 3回

自主事業別計画書(2)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニューデコパージュ で室内表札を作ろう	(目的) デコパージュとトールペイントを融合・調和させたニュー デコパージュを知っていただく。 (内容) 講師から「ニュー・デコパージュ」の基本的な作り方をお そわり、自分だけの逸品を作ってみましょう。とともに、 楽しい作品作りに挑戦していただく。	6月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南・東永谷・野庭地区センター(桜道・日 野南)コミュニティハウス5施設合同事業 「懇親囲碁大会」	(目的) 対局を通して、地域や施設間の新しい交流と親睦を 図るとともに、健康増進や生き生きとした元気な地域 づくりに繋げていく。 (内容) 野庭地区センターを会場に囲碁講師の主導のもと、勝 ち残りトーナメントで対戦を行う。また、プロ棋士による 指導対局解説等を行い、技術向上や囲碁への想いをさ らに深めていただく。	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庭造り剪定入門	(目的) 「剪定が難しく庭の手入れがでない」と悩んでいる方 に剪定のコツを目で見て体験していただき、日々の生 活に役立てる。 (内容) 剪定の知識や技術について、実際に手を動かして学 び、書物から学べない剪定の秘技を習得する。	7月・11月 各3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道講座 「筆で楽しく名前を書こう」	(目的) 筆を使って文字を書く機会の少ない現代、墨で描く文 字の奥深い趣を味わってもらおう。 (内容) まずは簡単な文字から始め、筆使いに慣れたら徐々に 大きな書に挑戦する。	7月～8月 4回

自主事業別計画書(3)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマテラピー入門	(目的) 植物の持つ芳香成分を利用した「アロマテラピー」を体験し、心身を癒していただくとともに、その利用法を学ぶ。 (内容) 「アロマテラピー」の基礎知識を学ぶとともに、精油を使ったクラフトでオリジナルなアロマコスメを作る。	8月～9月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが街ふれあい探訪	(目的) 区役所や地域の人と連携し、地域の催しにボランティアで参加する。 地域の人たちと交流の輪を広げる (内容) 地域の催し物に参加するための技を習得する。 また、ボランティアを学ぶ講座に参加する。	9月～12月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
水彩スケッチ入門	(目的) 野外に出かけることで健康維持や仲間たちとのふれあいなどができ、講座終了後も趣味として継続できる水彩スケッチを企画。描くことをみんなで楽しむ。 (内容) 水彩スケッチの基本的画法を講師から教わり、野外でのスケッチを楽しむ。	9月～11月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シティーガイドウォーキング	(目的) 地域を身近な存在として捉え、地域に愛着を持ってもらう。また、健康ウォーキングの楽しさを知る。 (内容) さまざまな名所旧跡を訪れ、ガイドからの説明を聞きながら付近を散策する。	10月～12月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男子の料理教室	(目的) 女性だけでなく男性も率先して料理を習い、家族や地域に喜ばれる存在を目指す。 (内容) どのご家庭にもあるような食材を使って、手早く出来、しかも家族のみんなをあっと言わせるような、男性ならではの料理を習得する。	10月～11月 2回

自主事業別計画書(4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鎌倉文学散歩	<p>(目的) 読書週間(10月27日~11月9日)に当たって、健康ウォーキングも兼ねて鎌倉文学散歩を行い、横浜に関係する作家の足跡に触れながら読書への関心を高める。</p> <p>(内容) 今回の文学散歩は、鎌倉に在住していたが、横浜生まれで横浜に縁のある作家大仏次郎ゆかりの地を訪ねる。 (訪問予定:大仏茶亭、鎌倉八幡宮、古都保存法発祥地、吉屋信子記念館、鎌倉文学館ほか)</p>	<p>11月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康太極拳入門	<p>(目的) 中国の伝統的健康法であり、呼吸器管や足腰を強化し、高齢者の転倒予防にも役立つ太極拳を習得する。</p> <p>(内容) ゆっくりとした動きの太極拳の形を講師から教わり、自宅でもできるようにする。</p>	<p>11月~12月</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画鑑賞会	<p>(目的) 心温まる物語の映画を観賞し、別世界のひとときを楽しむとともに、家族や友達などの絆を深める。</p> <p>(内容) 皆が感動する映画作品を上映する。</p>	<p>11月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコン講座	<p>(目的) パソコンを習得するとともに、の楽しさを知って生活に役立てる。</p> <p>(内容) 必要とする内容の知識や操作をマスターする。 年賀状作りの裏技などを講師から学ぶ。</p>	<p>12月</p> <p>4回×2=8回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南地区TC・桜道CH 合同事業 クリスマスコンサート	<p>(目的) 港南地区センターと桜道コミュニティーハウスで活動しているサークルとの合同事業。クリスマスを楽しみながら、音楽を通して地域、施設間の参加者同士のつながりや交流のきっかけにさせていただき、楽しい時を過ごす。</p> <p>(内容) クリスマスに向けてクリスマスソングを交えながら、会場全員で一緒に楽しい時間を過ごしていただきながら、温かい場づくりを進めていく。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

自主事業別計画書(5)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
10施設合同事業 「文化創造都市～ 横浜の魅力を探る」	(目的・内容) 横浜市では、現在「文化芸術創造都市」の推進に取り組んでいます。 そこで、今回は横浜の成長期に文化芸術の振興に貢献した先人達の足跡を辿るとともに、異国情緒豊かな街に変貌を遂げた山手地区の文化発信のイベントである山手西洋館「世界のクリスマス展示」を視察し、文化芸術都市～横浜の魅力を探ります。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
古典を読む	(目的) 毎年題目を変えて、古典の奥深い世界をじっくり追求してもらい、より好きになっていただく。 (内容) 名作を講師の先生が作った教材と講話で堪能してもらう。	1月～3月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
無添加味噌作り	(目的) 毎年好評で恒例化しつつあるこの講座に、度々参加してもらい味噌作りの基本を習得して、自家製味噌作りの名人になってもらい新たな地域の味を育む。 (内容) 地域の味噌作り名人から国産の材料を使って、仕込みから保存方法を教わり6ヶ月後の熟成した味噌を味わう。	2月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金融制度の活用術	(目的) 充実したセカンドライフをおくるため、金融制度に関する知識を学び、制度の活用を図る。 (内容) 「シニアのための(知っておきたいお金の知識)」や「超低金利時代の運用と相続」などについて、講師からの説明を受け、充実した生活設計に役立てる。	3月 1回

わんぱくサタデー事業別計画書(1)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなしのひろば	<p>(目的) 子育て支援。 幼児と母親の地域での友達作りの場とする。</p> <p>(内容) プレイルームで月1回”金色ポケット”のメンバー2人に依頼し、定期的に本の読み聞かせや紙芝居などを開催。</p>	<p>4月～3月</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カプラ 魔法の積木であそぼう	<p>(目的) 単純な形の積み木を積み上げ、思い思いの形を作っ て楽しむ。 子どもの持つ想像力や柔軟性を引き伸ばす。</p> <p>(内容) 講師が実際に積み木を使って見本を見せ、積み木の 面白さを示す。</p>	<p>4月～3月</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
葉脈のしおり作り	<p>(目的) 薬品を使用して化学的な実験を行い、その現象を観 察し、化学への興味を持ってもらうとともに、豊か な心を育む。</p> <p>(内容) 葉脈は葉の中を編み状に広がっていて、養分や水を 植物の組織や細胞に役割を担っています。葉から表 皮や葉肉を取り除いた葉脈標本をつくり、葉脈が葉 の中をどのように走っているかを観察し、さらに葉 脈のしおりを作る。</p>	<p>5月～6月</p> <p>2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
たなばたまつり	<p>(目的) 笹を飾ることが家庭では少なくなっている。 色々な人たちと一緒に、願い事を短冊に込めて竹に 吊るしてもらおう。日本に古来からある風習を大切に して子どもたちにも受け継いで行ってもらいたい。</p> <p>(内容) センターで用意した笹と短冊に、自由に願い事を書 いてもらい飾る。</p>	<p>7月</p> <p>6回</p>

わんぱくサタデー事業別計画書(2)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お楽しみ人形劇場	<p>(目的) テレビゲームや携帯ゲーム機などが横行する現代に、老若男女を問わず皆で一緒に、劇団の皆さんが演出してくれる演劇をおおいに楽しんでもらう。</p> <p>(内容) 様々なアマチュアの団体が、各々持ち味の違った題目と演出でみんなを楽しませる。</p>	<p>7月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どものアトリエ	<p>(目的) 子どもの個性を自由に表現できる絵や図工を、楽しみながら製作する。</p> <p>(内容) 絵の具だけではなく、紙や野菜や道具などを使ってユニークな作品作りをする。</p>	<p>8月</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子粘土教室	<p>(目的) 親子で工夫しながら、楽しく粘土で小作品を作る。親子で発想を生かしたオリジナルなデザインに挑戦し、作る喜びを分かち合う。</p> <p>(内容) 講師の指導のもと、親子でじっくりと粘土をこね、素敵な作品を仕上げる。</p>	<p>8月</p> <p>2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子であそぼー 「ぴよんぴよんクラブ」	<p>(目的) 子どもは遊びの中で友達との関わり方など、色々なことを学ぶ。子育てをサポートする講座としたい。</p> <p>(内容) 子どもの遊びを得意とする団体に色々な遊びを指導してもらい、遊びの中にルールを取り入れてマナーも勉強する</p>	<p>10月～11月</p> <p>5回</p>

わんぱくサタデー事業別計画書(3)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でお菓子作り	<p>(目的) 子どもが大好きなスイーツを作りながら、チームワークや安全についての知識を身に着ける。</p> <p>(内容) 季節に合ったケーキを手作りする。作った物をみんなと一緒にいただき、感想も述べる。家族へのお土産も。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南スポーツセンター 共催事業 ファジーバレーボール入門	<p>(目的) 港南区発祥のニュースポーツである「ファジーバレーボール」を体験し、楽しさを味わってもらおう。</p> <p>(内容) 港南スポーツセンターの講師から「ファジーボール」のルールや技術を学び、チームを作って試合を行う。</p>	<p>1月～3月</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貝殻のお雛様を作ろう	<p>(目的) 伝統的な雛人形を貝殻でつくる。材料から一つ一つ手作りすることの楽しみを知るとともに、出来上がりの満足感を味わう。雛人形を家に飾り、家族とのコミュニケーションを図る。</p> <p>(内容) 講師から、貝殻のお雛様の作り方を学ぶ。出来上がった作品をみんなで鑑賞して楽しむ。</p>	<p>2月</p> <p>1回</p>

(様式10)
平成27年度

収支予算書

施設名 港南地区センター

収入の部

(単位:千円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	31,822				0	横浜市より(消費税8%)
利用料金収入	3,400					
自主事業収入	786				0	
雑入	1,500	0	0	0	0	
印刷代	500				0	
自動販売機手数料	300				0	
その他(預金利息)	0				0	
その他(カラオケ使用料)	350				0	
その他(その他収入)	340					自販機電気、目的外、補助金
その他(関連物品販売収入)	10				0	物品販売収入
収入合計	37,508			0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	20,607	0	0	0	0	
給与・賃金	18,228				0	
社会保険料	1,736				0	
通勤手当	519				0	
健康診断費	106				0	
勤労者福祉共済掛金	18				0	
事務費	1,850	0	0	0	0	
旅費	15				0	
消耗品費	770				0	
会議賄い費	15				0	
印刷製本費	10				0	
通信費	220				0	
使用料及び賃借料	75				0	
備品購入費	150				0	
図書購入費	0				0	
施設賠償責任保険	20				0	
職員等研修費	5				0	
振込手数料	0				0	
リース料	530				0	コピー機、印刷機
手数料	30				0	
地域協力費	0				0	
その他(諸費)	10				0	
事業費	1,921	0	0	0	0	
自主事業費	1,485				0	読書推進事業含む
わんぱくホリデー	436				0	
管理費	9,117	0	0	0	0	
光熱水費	5,623	0	0	0	0	
電気料金	2,784				0	
ガス料金	1,989				0	
水道料金	850				0	
清掃費	622				0	
修繕費	200				0	
機械警備費	184				0	
設備保全費	2,488	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	1,486				0	
消防設備保守	71				0	
電気設備保守	612				0	
害虫駆除清掃保守	39				0	
その他保全費	280				0	
共益費					0	
公租公課	1,748				0	
事務経費	1,132				0	
ニーズ対応費	1,133					
支出合計	37,508	0	0	0	0	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--

